

■ 概要 :

製品分野毎に異なるセキュリティ要件やレベル持つIoT機器が、つながる機器 = システムとして捉え検討する必要がある。そこで、分野横断的な視点で「つながる機器として最低限の共通要件(Minimum requirements)を定義し、一定のセキュリティ(安全性)を確保するために必要(十分)な脆弱性検証方法を策定する。

なお、「IoT脆弱性共通要件」が提示されており、検討メンバーを中心に幅広くメーカへの浸透を図ることを目標とする。

■ 活動内容 :

- 1) 分野をまたがる最低限の要件(共通要件)を定義、更新を行う
- 2) 共通要件をチェックする手法を定義、更新を行う
- 3) 分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームの更新(必要に応じて実施)
- 4) 海外のIoTセキュリティに関するガイドライン、規格、基準の情報収集

■ 本年度ゴール :

- ・ 1)、2)については、2023年度の要件の公開及び、チェック手法(合格基準)の検討を行う。
- ・ 合格基準は、IoT機器の検査方法のガイドライン文書として公開を前提に作成を行う。
- ・ 分野別のレベル2以降のサーティフィケーションスキームについて、課題があれば対応策の検討を行う。

■ 参加者 :

- ・ 主査 : 田久保 (CCDS/マストトップ)、副査 : 積水ハウス、日立チャネルソリューションズ
 - ・ メンバー : 積水ハウス、日立チャネルソリューションズ、オムロンソーシアルソリューション、富士ソフト、大日本印刷
- ※各WGの主査及び、CCDS指定検証事業者
- ・ メンバー募集の有無 : 募集なし